

大会名称: 平成20年度 群馬県中学校春季大会
第28回 バスケットボール大会

開催場所: 桐生市民体育館 Aコート

試合区分: No. 105 女子 決勝

期 日: 2008(H20)年6月8日 (日)

主審: 高草木 元浩

開始時間: 11:40

副審: 綿貫 知明

終了時間: 13:00

入場者数: 500

長野郷		66		19 -1st- 12 17 -2nd- 7 10 -3rd- 12 20 -4th- 19 -OT1- -OT2- -OT3-		50		大類							
(高崎)								(高崎)							
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		古谷 理歩	2	0	1	0	0	4	*	木村 綾乃	11	2	2	1	1
5		山木万里奈	0	0	0	0	1	5	*	茂木 亜由美	0	0	0	0	0
6	*	小林なほみ	8	0	4	0	0	6		坂本理咲子	6	2	0	0	0
7		吉田 絢香	4	0	2	0	0	7	*	鈴木 玲美	18	0	7	4	4
8		大山奈津実	5	0	2	1	0	8	*	小林 夏希	4	0	2	0	1
9		長野 幸恵	-	-	-	-	-	9	*	小林 純夏	9	3	0	0	0
10		戸塚知奈美	-	-	-	-	-	10		乗附 那摘	2	0	1	0	0
11	*	八木 怜奈	4	0	2	0	3	11		堤 千鶴	-	-	-	-	-
12	*	八木 保奈	14	4	1	0	1	12		茂原 幸子	-	-	-	-	-
13	*	西川 瑠梨	18	0	9	0	2	13		中里 友香	-	-	-	-	-
14	*	秋葉美知瑠	11	0	4	3	3	14		渡辺 静流	-	-	-	-	-
15		金田 明穂	-	-	-	-	-	15		岐山 麗子	-	-	-	-	-
16		山木ひかる	-	-	-	-	-	16		谷丸 杏奈	-	-	-	-	-
17		原田 瑞希	-	-	-	-	-	17		設楽 菜帆	-	-	-	-	-
18		深澤 真優	-	-	-	-	-	18		柴泉 愛乃	-	-	-	-	-
コーチ 青山 卓哉								コーチ 佐々木慎一							
合計			66	4	25	4	10	合計			50	7	12	5	6

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファール

協会長杯覇者の実力を発揮し、1位シードの沼田中を破って勝ち上がってきた高崎長野郷中と、新人大会準優勝の高崎大類中との対決。両チームともハーフコートマンツーマンディフェンス。立ち上がりの2分間はシュート率が上がらず、互いに単発な攻撃で時間が進んだ。しかし、大類中 小林の3p 木村ドライブインの連続得点をきっかけに、負けじと攻撃を仕掛ける長野郷中の得点力が爆発した。古谷 秋葉のドライブイン 西川のミドルシュート 八木の3pそしてそれらを組み立てるガード 八木の、インサイド・アウトサイドどこからでも攻撃できる長野郷中が連続得点を繰り返す。大類中は 鈴木のスhootブロックやリング下シュート、木村の粘り強さなどで食らいついていくが、36 - 19長野郷中のリードで前半を終えた。

後半に入り、立て続けにタイムアウトをとってなんとか巻き返しを図ろうとする大類中の気迫が勝り、第3ピリオド中盤まで12 - 6大類中リードでゲームが展開した。しかし、長野郷中も意地を見せ、ピリオド終了間際に 古谷がフリースローを2本とも決め、八木もオフェンスリバウンドからのシュートをきっちりと決め、主導権を守り切った。

大類中は2 - 2 - 1や1 - 2 - 1 - 1のオールコートプレスディフェンスを仕掛けて猛追を狙う。一方長野郷中は豊富な運動量とスピードを生かして攻撃的にプレスを切り崩し、吉田 大山がシュートチャンスを逃さず得点を決め、66 - 50で逃げ切り、優勝を飾った。(文責:金子)